

スポーツ国際開発学共同専攻

講義

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--|------|-----|--------|------|-----|--|---|--|
| OATP021 | International Sport Policy Studies (国際スポーツ政策研究) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春C | 集中 | 永田 真一, Bloyce Daniel | 本講義では、主に英国やヨーロッパにおける事例を紹介しながら、スポーツ政策の国際的動向について把握するとともに、それらの諸実践を分析するための理論的枠組みについて理解することを目的とする。具体的には、教員による講義および履修学生によるプレゼンテーションを通じて、開発と平和のためのスポーツ、エリートスポーツ、オリンピック・パラリンピックのレガシーなどに関わる政策を対象としながら、スポーツ政策の国際的動向と課題、そして今後の可能性について学修する。 | 筑波開設科目。 OAVA106と同一。(2023年度まで開講) 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型) |
| OATP022 | Advanced Coach Education(上級コーチ教育論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 水2 | 松元 剛, 中山 紗織, 和久 貴洋, 渕上 真帆, 渡部 厚一, 福田 崇 | トレーニング方法、情報戦略、国際的な動向など、指導者の質保障を多面的にとらえ、指導者育成の観点からコーチ教育について考える。 | 筑波開設科目。 OAVA110と同一。(2023年度まで開講) 英語で授業。 対面 |
| OATP041 | Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 木1 | 清水 諭, 白井 宏昌 | スポーツ社会学における理論と実践的研究を基礎にして、スポーツを通じた国際開発と平和構築に関する批判的思考力を身に着ける。スポーツと身体に関する具体的事例について討議を行い、権力の作用について学習する。IDS・SDPの理論について理解し、実践に関する批判的思考力を身に着ける。 | 筑波開設科目。 OAVA104と同一。(2023年度まで開講) 英語で授業。 対面 |
| OAVA101 | International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 火2 | 山口 拓 | スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。講義では特に、開発問題に焦点をあて、地球規模の問題と持続可能で平和な社会を築くためのスポーツの利用について議論を行う。 | 筑波開設科目。必修。 <鹿屋> 石原 豊一 関 朋昭 英語で授業。 対面 スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |
| OAVA102 | Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 木2 | 清水 諭 | オリンピック・ムーブメントの変遷およびオリンピック・ムーブメントの中身について概観し、今後のオリンピック・ムーブメントについて展望する。 | 鹿屋開設科目。必修。 <鹿屋> 森 克己 英語で授業。 オンライン(同時双方向型) スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |
| OAVA103 | Diffusion of Japanese Culture (日本文化伝播論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 金2 | 大石 純子 | 前半においては、武道のような伝統的日本文化に関する知識、その伝播に付随する諸課題について学ぶ。加えて、伝統的日本文化が諸外国においてどのように捉えられているのか、また、日本人が自国の伝統文化をどのように海外に発信してきたのかなどについても学ぶ。 後半においては、学生自身が伝統的日本文化について英語で説明することを通して、日本文化の伝統についての理解を一層深めるとともに、それに関する英語表現の拡充を目指す。 | 筑波開設科目。必修。 <鹿屋> 中村 勇 英語で授業。 オンライン(同時双方向型) スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |
| OAVA105 | Sport Promotion (スポーツプロモーション論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 水3 | 清水 諭 | スポーツプロモーションの政策と成果に、国際的動向を学び、そこでの課題について考究する。 | 鹿屋開設科目。 <鹿屋> 北村 尚浩 石原 豊一 英語で授業。 オンライン(同時双方向型) スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。Webexで実施 |
| OAVA107 | Sport Management (スポーツマネジメント論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 木1 | 清水 諭 | スポーツ産業について文献、資料などを用いて世界的市場の動向、経営体の組織、運営などに関する考察を通じて、スポーツ産業のあり方について考究する。 | 鹿屋開設科目。 <鹿屋> 隅野 美砂輝 関 朋昭 英語で授業。 遠隔授業。オンライン(同時双方向型) スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |

| | | | | | | | | | |
|---------|--|---|-----|-----|----------|------|--------------------------|---|---|
| OAVA108 | Sport and Person with Disabilities (PWDs) (スポーツと障がい者) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋A 秋B | 月2 | 永田 真一 | 講義では、学生は障害者のスポーツについて学ぶ。その際に、パラリンピックやパラリンピック以外の世界大会、また障害(身体障害、知的障害、精神障害)の特性など、講義内で議論が可能と思われる事例なども提示していく。 | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 |
| OAVA109 | Health Promotion (ヘルスプロモーション論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春ABC | 集中 | キム セツビョル エステラ | In this course, students will learn about "Aging, environmental risks, and the role of physical activity and exercise". | 鹿屋開設科目。 <鹿屋> 堀内 雅弘 英語で授業。 対面(オンライン併用型) スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |
| OAVA111 | Research Methods (研究方法論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 金1 | 清水 諭, 金森 サヤ子 | スポーツを通じた国際開発と平和構築に関わる研究の基礎となる方法論の理論について、事例を踏まえながら学修する。 | 筑波開設科目。必修。 <鹿屋> 北村 尚浩 英語で授業。 対面: オンライン(同時双方向型) スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |
| OAVA112 | Cross Cultural Studies in Physical Sport Education (比較体育科教育論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 木2 | 佐藤 貴弘 | 比較体育科教育論では、海外の体育・スポーツの歴史、研究、文化を学ぶと共に、グローバルな視点と研究課題を探求することを目的とする。受講終了時における学習目標を5項目示す。1) 体育の専門用語と背景 2) 実践専門研究と理論を用いたデータ研究の英語表現の違い 3) 量的、質的、行動分析研究の動向と課題 4) 社会現象がもたらす海外の体育事情 5) 国際体育・スポーツ研究ジャーナルの論文執筆に関する要点 で構成されている。講義はすべて英語で行い、読解力、文章作成、研究方法論の内容が組み込まれる。更に、国際体育系ジャーナル執筆に用いられる3種類(American Psychological Association スタイル, Harvardスタイル, Chicagoスタイル)の参考文献フォーマット演習も取り入れることにより、国際的な体育・スポーツ研究に精通した人材を育成する。 | 筑波開設科目。必修。 英語で授業。 対面 |
| OATP023 | Management and Organization(経営マネジメント論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春C | 集中 | 山口 拓, 矢沢 大悟 | スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。 講義では、特に開発課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和的社会的な実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 更に、スポーツ国際開発(IDS)のマッピング、NGOでのIDS活動、組織マネジメント理論、ケース探索と理論的適応などを議論を踏まえて検討する。 | 筑波開設科目。 OAVA202と同一。(2023年度まで開講) 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型) |
| OATP024 | Project Management(プロジェクトマネジメント論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋B | 集中 | 山口 拓, 板垣 啓子 | 開発援助の実践力を高めるべくロジックモデルを改変された「プロジェクト・サイクル・マネジメント」に沿った計画・評価の手法を学ぶ。 ・基礎講座: 国際協力のトレンド、プロジェクトのPDCAサイクル・実践講座: ケールスタディーを用いた実践的検討: プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)、評価・モニタリング手法 | 筑波開設科目。 OAVA203と同一。(2023年度まで開講) 英語で授業。 対面 |
| OAVA201 | International Development and Peace through Sport II (スポーツ国際開発論II) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 火2 | 山口 拓, 佐藤 貴弘, 田 暁深, 中山 紗織 | このコースでは、「スポーツ国際開発学」の観点に基づく、文化的、社会的、国際的な問題解決の見解をスポーツイベントやに関する批判的思考法について学ぶ。特にIDS研究により集中した内容を取り扱う。 | 筑波開設科目。必修。 英語で授業。 対面 スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |
| OAVA204 | Research Project Management (研究プロジェクトマネジメント) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋A | 金1,2 | ラクワール ランディープ | 研究プロジェクトの計画、内容の構築や詳細の進め方など研究プロジェクトの実行方法について学ぶ。 | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 |
| OAVA205 | Research Project Management [Practical] (研究プロジェクトマネジメント(実践)) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋B | 金1,2 | ラクワール ランディープ | 研究プロジェクトの計画、内容の構築や詳細の進め方などの基礎理論に基づいて研究プロジェクトを実践実行する力を養う。 | 筑波開設科目。本科目履修要件として、OAVA204を履修していることを前提とする。 英語で授業。 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|-----|-----|-----|----|-----------------------------|--|--|--|
| OAVA302 | Public Policy for Social Development IA (社会開発のための公共政策IA) | 1 | 1.0 | 1・2 | | | | | この講義の主な目標は、公共政策と政策決定における主要な理論的流れを学生に紹介することである。公共政策の基本的な目標は問題解決であり、それはまた授業の主な目的となる。授業を通して一緒に、この目標がどのように達成されるかを探っていく。我々は、関連する政策主体と制度、政策のニーズと制約、そして結局のところ、なぜいくつかの公共政策が成功し、他が失敗するのかを特定していくことになる。 | 筑波開設科目。 西暦偶数年度開講。 英語で授業。 人文社会科学研究群M「公共政策論A」 |
| OAVA303 | Public Policy for Social Development IB (社会開発のための公共政策IB) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 木4 | 川崎 レスリー タック | | この講義の主な目標は、公共政策と政策決定における主要な理論的流れの習得を踏まえて、政策と政治分析を組み合わせた公共政策研究へのアプローチを探ることである。公共政策の基本的な目標は問題解決である。授業を通して一緒に、この目標がどのように達成されるかを探っていく。我々は、関連する政策主体と制度、政策のニーズと制約、そして結局のところ、なぜいくつかの公共政策が成功し、他が失敗するのかを特定していくことになる。 | 筑波開設科目。 西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面 【隔年】人文社会科学研究群M「公共政策論B」 |
| OAVA306 | Multicultural Coexistence (多文化共生論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋B | 集中 | 田 暁潔、佐藤 貴弘 | | 多文化共生の歴史とそれをめぐる諸理論を概観し、多言語、多民族、多宗教が共存するスポーツの世界で発生している差別や対立の課題を理解するための知識を学ぶ。アフリカにおける近代スポーツの導入とその展開を事例として取り上げ、差別、スポーツ移民、経済的格差などの諸問題を、異なる時代にあった民族と開発の捉え方から紹介する。これによって、スポーツと開発を結びつける際に必要な異文化理解と多文化共生の推進のための知識を身に付ける。 | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 |
| OAVA313 | Economic Development (経済開発論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 金4 | 柏木 健一 | | 本講義では、開発経済学の主要理論とアプローチについて説明し、発展途上国の経済発展における諸課題について概説することを目的とする。特に、開発の概念、構造変化、経済成長、貧困と不平等の問題等を扱う。経済発展の諸理論やモデルを学ぶことで、学生が開発経済学への理解を深めるとともに、発展途上国の経済発展に関する分析において、興味深い問題設定を行えるようになることを目指す。 | 筑波開設科目。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型) 人文社会ビジネス科学 学術院共通専門基礎科目「経済開発論」(OAA3016)と同一 |
| OAVA314 | Social Development (社会開発論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 木4 | 箕輪 真理 | | 本講義では、社会開発論を学ぶための基礎的科目として、発展途上国の教育、保健、医療等の分野における開発課題に関する経済学の実証分析の文献をレビューしつつ、教育や保健、貧困削減、他の関連する分野に関し、様々な政策的課題について議論する。分析のツールとして、経済学の実証分析の基礎的手法を学びつつ、実証分析のツールが社会開発分野の政策研究にどのように適用され、また、どのような学術的・社会的成果が得られているのかについて考察する。 | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 人文社会科学研究群M「社会開発論」(OABC005)と同一 |
| OAVA315 | Foundations of Therapeutic Recreation (セラピューティック・レクリエーション概論) | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 水3 | 永田 真一 | | This course covers the theories and practices of Therapeutic Recreation, which are widely applicable for Sport for Development. At the end of this course, students will be able to: 1) demonstrate knowledge of Therapeutic Recreation process, including assessment, planning, implementation, and evaluation; 2) demonstrate knowledge of facilitation techniques; 3) demonstrate knowledge of examples how Therapeutic Recreation are utilized; 4) demonstrate competence to facilitate an activity group; and 5) demonstrate competence to write an activity plan. Lecture will be taught in English, and all the assignments are done in English. This course aims to train students to be able to work in international Sport for Development contexts. | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 |
| OAVA316 | Data Management and Analysis for Research (研究データ管理・分析法) | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 月3 | キム セツビョル エステラ、田 暁潔、佐藤 貴弘 | | This course aims to train students to work with the data for conducting their scientific research in Sport for Development and Peace. Students will learn the interview skills and survey methods for a qualitative study and study design and data collection for a quantitative study for their problem statements and research questions. | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 |

| | | | | | | | | | |
|---------|--|---|-----|---|-----|----|------|--|--|
| OAVA317 | Intercultural Exchange and Communication (異文化交流・コミュニケーション) | 1 | 1.0 | 1 | 秋BC | 集中 | 清水 諭 | <p>高度にグローバル化した今日、文化の違いに起因する問題も多い。本授業では、異文化に対する意識、異文化コミュニケーション、異文化交流等、異文化にまつわる種々の問題の疑似体験やプレゼンテーション、ディスカッションを通して、多文化の環境において、自ら行動指針を決定し解決策を創出するためのスキルを修得する。</p> | <p>鹿屋開設科目。</p> <p><鹿屋> 国重 徹 石原 豊一 ヨーク セッターランド</p> <p>英語で授業。 オンライン(同時双方向型) Webexで実施。スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。</p> |
|---------|--|---|-----|---|-----|----|------|--|--|

演習

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--|------|-----|--------|--------|-----|--|--|--|
| OAVA401 | IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) | 2 | 4.0 | 1・2 | 春AB秋AB | 随時 | 佐藤 貴弘, 清水 諭, 松元 剛, 山口 拓, 大石 純子, 永田 真一, 中山 紗織, 田 暁潔 | <p>学生は、論文(特定課題レポート)を書くために、下記5つの課題領域と指導教員を選出し、社会課題を解決するIDSの手法、戦略、評価法等に関する調査・研究を行う。</p> <p>課題領域: スポーツを通じた開発と平和 (Development and Peace through Sport)、スポーツを通じた教育・青少年育成 (Education and Youth Development through Sport)、スポーツとジェンダー・人種・民族 (Sport and Gender, Race, Ethnicity)、健康と環境 (Health and Environment)、アダプテッド・高齢者のスポーツ (Aged and Adapted Sport)</p> | <p>鹿屋開設科目。</p> <p><鹿屋> 北村 尚浩 森 克己 堀内 雅弘 関 朋昭 永原 隆</p> <p>英語で授業。 対面</p> |
| OAVA402 | Research Project (課題研究) | 2 | 4.0 | 2 | 通年 | 随時 | 佐藤 貴弘, 清水 諭, 松元 剛, 山口 拓, 大石 純子, 永田 真一, 中山 紗織, 田 暁潔 | <p>研究テーマを設定し、実践的課題に対して、先行研究を踏まえて、修士論文または課題レポートを作成するにあたって、それぞれの指導教官の下で個別指導を受ける。</p> | <p>鹿屋開設科目。</p> <p><鹿屋> 北村 尚浩 森 克己 堀内 雅弘 関 朋昭 永原 隆</p> <p>英語で授業。</p> |
| OAVA501 | JSC Seminar (JSCセミナー) | 2 | 1.0 | 1・2 | 春C秋ABC | 随時 | 和久 貴洋, 清水 諭, 山口 拓, 大石 純子 | <p>日本スポーツ振興センターが開催する研修およびセミナーに参加し、レポート作成やその他の業務を通じて学習する。事前準備として、学生は自身の学術的興味や目的に従って参加するセミナーを選択する。セミナーは1日から数日間のものまで多様であるので、各自の都合に合わせて途中でリタイアすることが無いように準備する。セミナーの具体例として、国際スポーツイベントのレガシーに関するもの、ソーシャルメディアの利用に関するもの、スポーツライフに関するものなどがある。事後には、所定の手順に従って報告書をまとめて指導をうける。</p> | <p>筑波開設科目。 OATP031と同一。(2023年度まで開講)</p> |
| OAVA502 | JSC Project (JSCプロジェクト) | 2 | 1.0 | 1・2 | 春C秋ABC | 随時 | 和久 貴洋, 清水 諭, 山口 拓, 大石 純子 | <p>日本スポーツ振興センターで展開されている事業プロジェクトに参加し、事業運営、マネジメントの実際について学ぶ。事前準備として、提示されたプロジェクトリストの中から、学生自身の興味関心に従ってプロジェクトを選択し、所定の申請手続きと諸指導を受ける。実習期間中は、プロジェクトの推進を実践的に経験学習する。プロジェクトの例としては、国際的なイベント入札に関するもの、政策情報の収集と分析に関するもの、国内におけるスポーツタレントの発掘と開発、選手育成、コーチング、スポーツインテグリティプロジェクトなどがある。事後指導としては、経験学習を振りかえってレポートにまとめる。</p> | <p>筑波開設科目。 OATP032と同一。(2023年度まで開講)</p> |
| OAVA503 | Seminar in Universities Abroad (国外大学セミナー) | 2 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 随時 | 清水 諭 | <p>自分の研究テーマに沿って、興味関心のある分野について、海外の大学における教員及び学生とコミュニケーションをとり、授業に積極的に参加して、研究能力を深める。事前に、興味関心のある分野の明確化、その分野を得意とする大学の選定、先方との連絡連携について、指導教員と十分な連携を取りながら準備する。海外での安全留意や先方の受け入れ先を明確にしたうえで、渡航し、所定のセミナーや授業などに参加する。事後には、報告書をまとめて提出すると同時に、先方への令状や今後の人脈の確保に努める。</p> | <p>筑波開設科目。 英語で授業。 対面</p> |

| | | | | | | | | | |
|---------|---|---|-----|-----|----|----|-------------------|--|--|
| OAVA504 | International Conference and Seminar (国際カンファレンス・セミナー) | 2 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 随時 | 清水 諭, 山口 拓, 大石 純子 | 国際カンファレンスや国際研究セミナーで発表を行うなどして議論を深め、また自己の研究テーマに沿って資料収集を行い、研究能力を高める。事前に、参加するカンファレンスでの発表内容について、指導教員と十分な連携を取りながら研究を深め、発表内容を煮詰める。発表するための所定の申請手続きも行う。カンファレンスに参加したら、しっかり発表するとともに、参加者と議論を深め、研究に対する視野を広げ、人脈を広げる。事後には、指摘された課題や今後の研究課題について整理するとともに、報告書をまとめて提出する。 | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 |
| OAVA505 | NGO Activities (NGO等プロジェクト) | 2 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 随時 | 山口 拓 | NPOやNGOの活動の実践に触れ、課題発見や課題解決に向けた計画・活動・評価等に関する取り組みを学ぶ。本実習では、特に経験知の獲得を目標に、各組織が取り組む諸課題の特性と課題解決に向けた方略を実体験を通じて学ぶ。事前準備として、世界各地で多様な活動を実施しているNPOやNGOに関する情報を収集し、参加する組織の焦点を絞る。指導教員と十分な連携を取りながら、組織と連絡を取り、活動参加への許諾を得る。実際の参加にあたっては、安全への配慮、健康面での留意事項に注意して渡航し、活動に参加する。現地では、その地の風習や慣習を尊重しつつ、安全に配慮して活動実態を肌を通して学ぶ。事後には、学んだ経験を報告書にまとめるとともに、活動における課題などについても整理して報告する。 | 筑波開設科目。 英語で授業。 対面 スポーツ国際開発学共同専攻学生のみ履修可。 |

実践

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------------------------------|------|-----|--------|------|-----|--------------------------|---|---|
| OAVA601 | On the Job Practice (Domestic) | 3 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 随時 | 和久 貴洋, 清水 諭, 山口 拓, 大石 純子 | 日本スポーツ振興センターなどのスポーツおよび国際開発に関連する組織において4週間(1日7時間×4週間)の研修を行う。事前に、指導教員、受け入れ先組織と十分な連絡相談を重ねたのち、受け入れの許諾をえること。許可が下りたら詳細な実習計画書を作成し指導教員の署名捺印を得たのち提出する。実習生調書、保険への加入などの手続きを進めること。実習中は無報酬を原則とし、受け入れ組織の規則や慣習に従って、真摯に実習に努める必要がある。実習中は実習記録を作成する。実習後は、実習記録と実習報告書を所定の手続きを踏まえて提出するとともに、実習先指導者による評価を受け、評価表を大学に提出すること。 | 筑波開設科目。 OATP033と同一。(2023年度まで開講) |
| OAVA602 | On the Job Practice (International) | 3 | 6.0 | 1・2 | 通年 | 随時 | 清水 諭, 松元 剛, 山口 拓, 大山 高 | Local- International NGOの実践に触れ、課題発見や課題解決に向けた計画・活動・評価等に関する取り組みを学ぶ。本実習では、特に経験知の獲得を目標に、各組織が取り組む諸課題の特性と課題解決に向けた方略を実体験を通じて学ぶ。現地-/国際NGO、機関等やJICA等のインターン/ボランティア・スタッフとして、4カ月(16週間)程度の活動に従事する中で課題の本質を学ぶ。 「現地-/国際NGO、機関等の実際を知ること、市民社会組織の役割と限界を学び、実際的な取り組みから理論と実際の異なりを把握できるようになる。 | 鹿屋開設科目。 <鹿屋> 北村 尚浩 隅野 美砂輝 中村 勇 石原 豊一 永原 隆 英語で授業。 |